



頌 春

2005年 元旦



若々しい「稲門会」を創りあげよう

会長 山下 邦康

あけましておめでとうございます。

思えば昨年は最初から最後まで波乱と災いに明け暮れました。さて、今年はどんな年になるのでしょうか。まずは、日本も世界も「修復」と「再建」の一年が待ち構えているような気がします。

私たちの稲門会は創設以来、あしかけ十年目をむかえました。幸いなことに稲門会は「修復」も「再建」も必要ありません。地固めを終え、いよいよ次のステップに向かって飛躍の時です。でもかけ声だけでは先に進みません。若々しい発想と厭わぬ行動が求められる年でもあります。私たち年配者も、今更〜だとか、誰かに任せてとかでなく、若者の気持を取り戻して、大いにリフレッシュしたいものです。

「進取の精神」は学生たちだけのものではありません。身も、心も「ヤング」というパウダーでブラッシュアップしようではありませんか。そしてまず、外へ出かけましょう。友と大いに語りましょう。大いに遊び、学びましょう。

大隈重信侯は私たちの「停滞は死滅なり」との言葉を残されました。

会員の皆さんの年頭所感

50音順 敬称略

- 芦田均** 今年は、ゴルフで100を切りたい。
- 有賀傳** 今年も元気で、よろしく。
- 大西幸夫** 今年は一段とりハビリに努め、元気になって、なんとか一人前にお付き合いが出来るように頑張ります。
- 大野恵子** 皆様のご活躍を祈ります。
- 小野智** 毎日の笑いを忘れず、プラス指向で、クリーン・オネスト・ビューティフルをモットーにして。
- 大森平八郎** 今後予定のない限り雑学講座には出席したいと思っております。
- 岡原裕泰** 昨年3月初め喉頭癌摘出入院。会報発刊以来の久米川町1～2丁目のポストマンもこれまでか。病床の私に妻「やっといたよ」とさりげなく。嬉しかった。今は再発濃厚承知の上、神明奉仕はもとより、ポストマンもしかり。日々新た。

- 川合幸雄** 日中水墨画協会、今年は日中水墨画の友好に努力していきます。
- 木原晴彦** 早くイラク戦争が終わってほしいものです。
- 久世利夫** 日記の年頭所感も年々トーンダウンしてます。五体五感の衰えで行動半径もめっきり狭くなりました。今や東村山稲門会の諸兄姉との交流が数少ない社会との接点・情報源と感謝しております。今年も又、皆様に「お守り」をして頂く事になりますがよろしく。
- 小林傳** 悔いのない1年にしたい。
- 斉藤充美** 今は7店舗9ヶ所です。今年中に8店舗目を持つつもりです。
- 佐久間厚** 明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
- 佐藤守彦** 昨年は「災」に象徴される1年だった。私は福生の経験者。今年は「翔」の字があたりはまりますように願ってます。
- 澤村信義** 平成17年は正月から仕事（出張）です。
- 塩見之一** 今年は天災の無い年であることを祈ります。
- 高部素行** 70代まえに70台に挑戦。実現にはげみます。ご指導下さい。本年もよろしくお願いいたします。
- 田口政澄** 毎年お屠蘇をいただきながらあれこれ計画を立て、夢を描くが、余り実現しない。今年こそとり逃さないようにしよう。
- 月森通夫** 申年が去りましたので、良い酉（年）になりますように。
- 津野慶浩** なにか急に体力がなくなってしまったような気がするこの頃です。今年はストレッチなど体力と気力の維持に努めたいと思っております。
- 当間昭治** 私と家族にとって節目の年になります。「現状+ α 」の α をいかに充実させるか。それがポイントです。
- 戸田志郎** 『愁ひつつ岡にのぼれば花いばら』蕪村の心境です。本年もよろしく！
- 富塚哲夫** 平成16年は、景気回復は今一つ、おまけに、度重なる自然災害、後を絶たない凶悪犯罪、とさんざんな一年だったが、新年は心機一転良い年を願いたい。
- 内藤慎** 平和で楽しく明るい社会を祈念し、手近なふれ合いを大事にしたい。
- 長井治** 今年も楽しい日々を送りたい。地球に大きな異変が起きないように祈る。
- 中川俊郎** 健康維持、気力持続、趣味等充実。
- 夏山一彦** 昨年度の早大地域経営ゼミと墨田区の産学連携に参加し、担当教授や学生達との交流をきっかけに30年間私の中で眠っていた早稲田精神がよみ返りました。稲門会各位との交流を通じて社会貢献できればと思います。
- 成田延雄** 新しい年を迎えて、平和と安心のできる生活が続くことを願っています。東村山稲門会の皆様のご健勝を祈っています。
- 南湖修一** 今年は初孫の成長を願いつつ自分自身も少しずつ成長するぞ！
- 野口順正** 新春を、寿ぎ祝ふ、喜寿の年。
- 福田晃** 各役員の皆様何時も御苦勞様でございます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
- 藤澤博恭** 雨にも負けず 風にも耐えて 今年も 元気で 花 ある 日々を大切に生きよう！
- 細淵昌** 年頭に当り、祖国日本・母校早稲田大学並びに東村山稲門会の皆様の弥栄を祈ります。
- 松澤徹** 今年も楽しくポストマンの仕事をさせていただこうと思っています。
- 宮輝雄** 鶏年にあやかって飛躍の年としたいですね。
- 宮入秀光** 本年も宜しく願います。
- 森澤要** 本年もよろしくお願いいたします。
- 吉富均** 新年おめでとうございます。本年も宜しく願ひ致します。
- 吉本正典** year for golfing にし一層精出します。swing form も昔にもどしました。
- 渡辺利則** 会員の健康たらんことを祈念します。
(新年会出欠はがきに書いて頂いたものです。出欠に関するコメントは省略)

会からのお知らせ

緊急お知らせ

小竹昭三殿（諏訪町 昭28政経）は旧暦30日
逝去されました。心からお悔やみ申し上げますと
ともにご冥福をお祈り申し上げます。

○定例役員会

日 時 : 2月5日(土) 14:00~16:00

場 所 : ふるさと歴史館 研修室 (諏訪町1丁目)

都合の付く会員は自由にご参加ください。

○第38回東村山雑学講座の予定 (詳細案内は次号)

日 時 : 3月12日(土) 15:00~15:30

場 所 : 確定作業中です。

演 題 : 「波乱に満ちた人生行路」

講 師 : 森 実 正 純 氏 (S33早大法研卒)

ワールドステイクラブ元会長

○新入会員紹介 (12月)

227人目の会員です。(2ページに年頭所感あり)。

夏 山 一 彦 (なつやま かずひこ) さん (S48 社学)

[曹 明 鉉 (そう めいげん)]

〒189-0011 東村山市恩多町1-44-93 TEL 042-397-7647

○会員消息

山下 邦 康 さん (S36教育) の 著書

「やっぱり差別が好きなアメリカ人」が出版されました。

(経済界 ¥1,470)

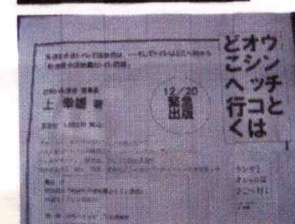
誰も書けなかった「白人優位主義」が招く国家崩壊の危機を
国際派の著者が鋭く切り込んで描く! (1/4 付朝日新聞広告)

上 幸 雄 さん (S47教育) の著書

「ウンチとオシッコはどこへ行く」が出版されました。

(不空社 ¥1,680)

昨年11月の当会総会の記念講演で蘊蓄を傾けた著者が、日本
トイレ協会設立20周年の節目の本年を前に12/20緊急出版。



○会費納入有り難うございました。(11/25~12/26受付分)

高柳武司、関一誠、木原晴彦、今関繁雄、宇都木弘之、高橋正夫、岡原裕泰、松永常尚、小林傳、
肥沼恒夫、津野慶浩、吉高太郎、鍋島高明、滝澤利久、細渕昌、比留間光信、奥村幾正、岡部幹郎、
重久和彦、石川武、野口順正、福田晃、北条進、中村真弓、幸田瑞雄、山口洋司、松澤徹、多田実、
高杉修、菊田哲、上原正行

以上31名 累計150/227名 (受付日順 敬称略)

年会費(3,500円+1,500円)の振込先は

郵便振替口座 00160-0-112250 名義 東村山稲門会 へ

同好会だより

テニス同好会

世話人 当間昭治 TEL 391-6023



12月の例会は18日(土)運動公園コートで実施。参加者は常連の江藤、小菅、当間に加え復帰した戸田さんに当間の叔父と小菅夫人を加え6名。冬の早朝で出足が心配でしたが、何とかコートを使い切りました。

新年は新年会当日の午前中、2月は久し振りに日曜日の開催です。

記

日時：1月8日(土) 午前9時～午前11時

2月6日(日) 午前11時～午後1時

場所：両日とも久米川3

ヨガ同好会

世話人 大西幸夫 TEL 395-2817

12月の実施状況

第42回：12月6日(月)参加者、大西、飯塚夫妻、大西、風間、木谷夫妻、小山、額田、三宅夫人以上6名参加、恒例通り、先ず風間さん指導の太極拳、錬功18法と、ヨガを行いました。

第43回：12月23日(水、祭日)、参加者：飯塚夫妻、大西、小山、三宅夫妻、以上6名参加で、午前中の好天気の中で行いました。なお、ヨガのみで11半時頃早めに終了しました。

H17年1月の予定

第44回；1月12日(水) 第45回；1月23日(日)

何れも10時00分～11時45分、東村山スポーツセンター小会議室です。

なお、ニュース12月号のお知らせとは変わっていますので行き違いの無い様お願い致します。

囲碁同好会

世話人 野村保夫 TEL 394-0417

高 鷲 近

394-2336

○12月の例会は、12月25日(土)に市民センターで開催。

8名の会員が参加し、熱戦が繰り広げられました。

○囲碁同好会は、年に2回の大会のほか、棋力向上と会員の親睦のため隔月に開催しています。

会員は25名。腕に覚えのある方もそうでない方も、いつも楽しくやっていますので、ぜひご参加ください。

○次回は、2月19日(土)、午後1時～5時、市民センター第6会議室で開催します。



カラオケ同好会

世話人 内藤 慎
八木 勝利TEL 393-5071
394-5963

2ヶ月振りの例会が忘年会を兼ねて12月4日ドレミにて開催しました。出席は、井垣、小野、風間、高部、内藤、山下、八木の各氏7名。座興として各自得意の一曲をカラオケの機械に採点を任せました。

歌のフレーズの合間に画面に“調子がいいぞ”“ふむふむ”“なかなかいいぞ”“もう一息”等の誉め言葉がある反面“元気がないぞ”“声をはりあげて”“音程が狂う”“リズムが違う”“どうした”等の言葉が映し出され全員大爆笑。中にはこの審査は俺と合わない。審査員出てこいと殴り掛からんばかり。

“激怒”(?)する場面もありまたまた大笑い。今までにない楽しい一夜でした。

採点の結果、高部、井垣、小野の3名のかたが入賞、賞品が渡されました。又全員に参加賞(ジャンボ宝くじ)が渡され大当たりが正夢にならん事を祈り雨の中散会。

1月は

1月8日(土) シダックス東村山店 7時30分

一年の初め明るい歌声でスタートしましょう。

多数のご参加をお待ち致します。(内藤記)

郷土史の会

世話人 三宅良太 TEL 394-5298

平成17年第1回の郷土史の会を下記の日程で催します。今回は平成16年度に全11巻刊行完了された「東村山市史」について、その編纂の経緯や内容のあらましについてお話をし、頂くことに致しました。折角の機会ですので、大勢のご参加をお待ち致します。

テーマ：東村山市史編纂について

講師：東村山市ふるさと歴史館 学芸員 小峰孝男氏

日時：平成17年2月6日(日) 13:30~16:00

場所：東村山市ふるさと歴史館 研修室

麻雀同好会

世話人 小野 智 TEL 391-9523
松永 常高 332-5621

平成16年第4回麻雀大会は予定通り12月5日(日)麻雀Mにて開催されました。(結成以来30回目)忘年会も兼ねての大会で16名(4卓)出場者全員、今日はこそはと心中の思いをパイに託して奮戦しましたが、結果は大体実力者が黒字を残しまして、優勝：田口 準優勝：土橋 3位：小野 4位：鈴木(義)

5位：当間 6位：山下 BB：江藤(佐野雀士とのジャンケン勝者)

の各雀士でした。表彰式の後には例回の如く、各氏の近況報告があり、前回と同じく井手氏が得意のハーモニカ4曲(〇〇〇 都の西北)を演奏して、忘年会にふさわしく賑やかに終わりました。尚次回は平成17年3月13日(日)に予定しております。

園芸の会

世話人 三宅良太 TEL 394-5298

今年第1回園芸の会が近付きました。今回は例により藤澤博恭氏（29年政経）に、さくら草、さぎ草の芽分け、植え付けをお浚いを兼ねて実習をして頂きます。

来年の初会合は例によってさくら草、さぎ草の芽分け、植え付けをお浚いを兼ねて実習
余分の種芽をお持ちの方はご持参頂き交換して頂きとう存じます。大勢のご参加をお待ち致します。

日時：平成17年1月29日（土）午後3時～5時

場所：東村山市民スポーツセンター 2Fスポーツクラブ室

ゴルフ同好会

世話人 井垣和太 TEL 396-3100

2004年の締めくくり「忘年ゴルフ会」を、当会ホームコースの「こだまゴルフクラブ」で、12月17日（金）会員10名ゲスト2名の参加を得て開催致しました。

11月に新入会されたばかりの**芦田均さん**、おしどり参加の**森田茂夫さん**、**同果子夫人**、レディス仲間の**紅松容子さん**（会員）、後は常連の**相馬さん**、**高部さん**、**津野さん**、**内藤さん**、**堀田さん**（11月の総長杯ゴルフにも参加されましたが、ニュース記事で欠落しておりました。ご免なさい）**井垣**の10名が、スコア非公開でストレスのないゴルフを楽しみました。

プレー終了後は水も飲まずに、東村山にとって返し、「丸藤」で忘年ミーティング。我々が盛り上がっていた部屋へ、帽子とサングラスの茶髪の若者があわや乱入というハプニングもあり、一触即発状態に陥りましたが、若者の素性が解って全員納得。彼も加わってますます意気軒昂の会となり、稲門会の今後、大学の将来像など若者？が感心する高次元の話題に話の花が咲きましたが、最後はやっぱりゴルフ談義に落ちていきました。

次回は4月の会長杯です。幹事は**紅松喬さん**、**容子さん夫妻**。とり年にふさわしいおしどり幹事さん、よろしくお願い致します。

（井垣 記）

俳句同好会（稲酔会）

世話人 高杉修 391-8447

井垣和太 396-3100

短日やポストに落とす文の音 北窓

第16回陶酔会句会が12月25日（土）恩多ふれあいセンターで行われ、**高杉風至**、**菊田一平**、**井垣稲雀**、**八木竜湖**、**大西回生**、**風間和夫**、**丸本北窓**、**内藤慎**の8名が集いました。兼題「短日」を含む各人5句の計40句を互選、合評しましたが、冒頭の句が高点句になりました。

続いて席題（その場で出される季題）「十二月」「狐」の各1句を20分で作るという初級者にはきついトレーニングにも挑戦。しかし3年にわたる勉強の成果で皆さんなかなかの句を作られ、ベテラン勢も感心しきりでした。

次回は2月26日（土）兼題は「きさらぎ」です。（会場は2月のニュースで発表）

多摩湖ふくろう通信

No 37 2005. 1. 3

戸田 志郎

2005年酉年。庶民増税計画の一つであるところの所得税の定率減税（現行所得税20%、住民税15%減税）の縮小・廃止について2年間で原則廃止する方向が政府与党内で固め、国の進むべき道にとって重大な方針である自衛隊のイラク派兵延長を国会で審議することなく決めたのにつづき、自衛隊の海外派兵の本来任務化を柱とする『新防衛大綱』が閣議決定される中で、新年を迎えた。当面、国政選挙がないことを良いこととして、やりたい放題といったところである。

ブッシュのアメリカが4年間も続くもとの、小泉日本はそのいいなりとなり、消費税を中核とする増税と9条を本命とする改憲という方向にマスコミをまきこんで突き進んでいるが、この流れをどうしたらいい止められるのか。そのために何ができるのか。

本年も昨年に続いて知恵と行動が求められる年となりそうだ。

さて、年頭に当り、多摩湖の歴史から始めたい。現在、多摩湖の大改造工事が進められているが、多摩湖は、正式な名を、村山貯水池という。ちなみに隣の狭山湖は山口貯水池という。多摩湖は1927（昭和2）年、首都東京の水がめとしてそこにあった161戸の農家を水底に沈めて作られた人造湖である。

1975（昭和50）年、導水管工事のため、はじめて水抜きされたが、今回の大工事による水抜きは2回目ということになる。多摩湖がある狭山丘陵には二つの大きな谷が東西に流れていた。北側の綾瀬川をせき止めたのが狭山湖、南側の宅部川をせき止めてできたのが、この多摩湖である。

1911（明治45）年、東京市は人口増加にともなう水不足解消するため、村山貯水池建設の決定を一方的に行う。湖底の村に住んでいた村民は、先祖伝来の地を離れなければならないことや、買収価格があまりに安かったことなどから、賛否両論、利害得失をめぐって、大問題となった。しかし、日露戦争後の不況の影響もあり、移転やむなしという方向に向かわせた。買収は、個々の地主と市との間の個別交渉という形をとり、全体として、次々と買収に応じ、1915（大正4）年にはほぼ移転を完了した。買収に応じなかった8人については、1919（大正8）年、国の強制収用により、全戸立ち退けさせられた。下貯水池に一つの島がある。この島になっているところは、買収交渉で、粘り強く交渉を行った人の住んでいたところであり、一説には貯水池建設が実施された後も頑固に居座りつづけ、その結果として島と化したものといわれていた。この島の名前をいのこり島（強情島）という。1920（大正9）年、資材運搬の軽便鉄道が東村山駅から上堰堤まで開通し、工事は本格稼動したのであった。

俳壇

高杉 風至

短日や山のしかかる向ふ岸
道ふさぐ違法駐車や空つ風

菊田 一平

東京の端にあつまる冬始め
なにやらを燃やしてゐたる冬菜畑

井垣 稻雀

蹴り返し蹴り返しして栗落葉
紙ばかり積み重なりて十二月

八木 竜湖

風の子に風邪をひくよと母の声
戸締りの音高らかに年暮るる

大西 回生

短日も仔犬居るから春うらら
天高く陽光明るく木々映えり

風間 和夫

短日や影長くなる立話し
極月や最後に託す夢一つ

丸本 北窓

短日やポストに落とす文の音
広げたる記事の暗さや木の葉降る

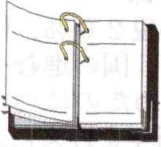
内藤 愼

暮早し背を丸くして人の群れ
歌舞伎町照らすネオンに雲降り

塩見 之一

年果てて空堀川に鳥溢る
球を追う長寿の群れや冬霞

今月の予定



1月 8日(土) 役員会
東村山雑学講座
新年会
テニス同好会
カラオケ同好会
12日(水) ヨガ同好会
23日(日) ヨガ同好会
29日(土) 園芸の会



編集局だより

編集局：井垣、伊藤

○昨年には本当に慌ただしい1年になってしまいました。何回かご紹介した様に5月には下宅部遺跡公園「はっけんのもり」が開園。素晴らしいボランティアの仲間達が公園の維持管理を続けています。

○2月から始まった「トトロの家を東村山へ」市民の会は稲門会の多くの方々のご支援を受け年末までに3万2千名の市内外からのご署名を頂き現在市側との協議に入っています。ご支援に感謝致します。

○増上寺の石灯籠の探索は目標の500基を越えました。インターネットを通じて多くの方々から情報を頂き、山縣、新潟、岐阜まで探索の手が及びました。『東村山市史研究』に要旨を報告させて頂きましたので興味のある方はご覧頂けたらと思います。

○そのせいで昨年は殆ど「稲門会」のお手伝いが出来なくなってしまいました。年頭に当たり深くお詫び申し上げます。
(伊藤)

次回の原稿締め切りは1月29日(土)とさせていただきます。(2/5発行予定)

○昨春母を見送り、印刷業界の策略とうそぶきつつもなんとか欠礼のはがきを出し終え年用意もなにもしなくても良いなと思っていたら、29日午前中から思わぬ大雪、恒例の「晦日ゴルフ」もおじゃんとなり、運動不足解消にと前の道路の雪掻きに奮戦。

○アミノバイタルプロと5枚も貼り付けた湿布薬のおかげで、筋肉痛もたいしたことなく新年を迎え、ちびっ子ギャング2人組の「戦いごっこしようよ」ものらりくらりと交わしながら3が日を過ごした2005年の正月です。

○戦後60年の節目の年等と言われてるようですが、我が身は脱サラ後10年の節目。肩こりの起こらない、文字通り「わ・が・ま・ま」マイウエーを満喫させて頂きました。色々なことに手を付けすぎ一寸交通整理が必要になってきました。

○ニュース作成もすこしばかり「わ・が・ま・ま」が過ぎて、マンネリ感を感じています。100号まではと思っていますが、「俺が伊藤さんと組んでやってやるよ。」という方の登場を切望しております。

○山下会長の挨拶にある老候の言「停滞は死滅なり」は至言。「出でよ稲門会ニュースの新しき旗手！」灯を灯し続けるのはこれを読んでいるあなたですぞ。
(井垣)